

JAWRO 講演会 開催報告

群馬大学 重粒子線医学推進機構 岡野奈緒子

2023 年 5 月 7 日（日） 午前 9 時から 1 時間 オンライン形式で、米国の放射線治療医の多くがメンターとしてその名をあげる **Dartmouth Cancer Center** の **Dr. Thomas** をお迎えし、「メンターシップ」についての講演会が行われました。本講演は JAWRO 国際交流委員長の順天堂大学浦安病院 齋藤アンネ優子先生が米国放射線腫瘍学会に参加された際の Meeting がきっかけとなり、企画いただき実現いたしました。当日は連休最終日の午前中でしたが、**22** 名もの参加者が集まり、アンネ先生の座長のもと、**Prof. Thomas** のメンターシップや若手の教育に関わるこれまでの多数の業績や実践方法などについてご講演いただいた後、通訳の学生さんにもご協力いただきながら、日本語と英語が活発に飛び交う有意義な **discussion** が行われました。ご講演内では、主にメンターとはどのような存在かの解説についてサポーターとの違いも含めご説明があり、メンターの役割を果たすためのメソッドについては先生が用いているメンティーとメンター両者が目的や目標を共有するためのシートを供覧いただきながら、アメリカでのキャリアアップをアシストするメンター・サポーターのあり方についてわかりやすく解説いただきました。また、討論の部では、日本の大学教員の多忙さによるメンターシップの難しさや、一人医長など少人数の臨床現場におけるメンターシップの果たし方やキャリアアップについてなど、日本の現状に **focus** した質問が多く寄せられ、議論が交わされました。これまであまり注目されてこなかった、教育する側の教育、についてのテーマでしたが、多くの医師がこれで良いのかと不安を持ちつつ指導しているという現状を改めて実感しました。特に女性のキャリアアップにおいては、ライフイベントによる中断などもあることから、絶え間なくかつ必要な時に必要な手を差し伸べてくれる、メンターやサポーターの存在は極めて重要であると感じています。企画いただいた渉外委員の先生方、オンライン開催の準備にご尽力いただきました IT 委員の先生方、今回も快くお仕事を引き受けてくださいました通訳の学生さん、誠にありがとうございました。